

モニタリングチェックシート（令和3年度）

<評価>

施設名	大泉障害者地域生活支援センター
指定管理者名	社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会
評価者	障害者施策推進課長

優：特筆すべき実績・成果が認められるもの
 良：管理運営が良好と認められるもの
 要改善：一部において改善を要する点が見受けられるもの

評価項目および評価の視点	評価	評価理由・改善すべき点等
1 組織体制 <ul style="list-style-type: none"> 練馬区情報セキュリティポリシー、個人情報保護条例および情報公開条例に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか 労働基準法、労働安全衛生法、育児・介護休業法等、労働環境に関する法令等を遵守しているか 労務環境調査の指導・助言事項について必要な対策を講じたか 練馬区環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた業務を行っているか 管理業務費の経理、収納した利用料金の取扱い、実費負担金等について、適正な処理および管理を行っているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 区と同等の個人情報管理規程および情報公開規程を独自に設け、研修を実施する等、適正に運用している。 労働関係法令に基づき、給与規程、就業規則等を定め、適正に運用している。 労務環境調査で助言のあった出勤記録簿の記載漏れや協定の届出遅延については、即時に対策を講じ、改善に取り組んだ。 資料の電子化による用紙使用量の削減に取り組むなど、環境負荷の低減に努めている。 会計規程に従い、適正な会計処理を行っている。
2 施設運営体制 <ul style="list-style-type: none"> 現在のサービス水準を維持し、向上に向けた取組を進めているか 計画的に職員研修を行うなど、職員の育成に努めているか 利用者等への公平公正な対応・人権の配慮がなされているか 苦情処理の規程と体制を整備し、苦情があった際に適切かつ迅速に対応しているか 施設の利用状況は良好か 利用者アンケート等の評価は良好か 大泉障害者地域生活支援センター運営委員会の評価は良好か 新型コロナウイルス感染症へ適切に対応しているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートなどによる意見・要望に細やかに対応し、サービス水準の維持向上に取り組んでいる。 基幹相談業務等、事業の重点事項に沿った研修を積極的に受講するなど職員の育成に努めている。 虐待防止委員会を設け、全職員を対象に年3回チェックリストを用いて検証し、日々の支援を振り返るほか、虐待・人権について所内研修を実施している。 オープンスペースの利用者数は、3,040人(2年度2,239人、元年度3,089人)となり、前年度より35%の増となった。 利用者アンケートによる満足度は、82.1%で評価は良好である。 運営協議会の評価は良好である。 検温や消毒、換気などを徹底するほか、区の方針に基づきプログラムやオープンスペースの人数制限など感染防止対策に取り組んでいる。
3 施設の維持管理・安全性への配慮 <ul style="list-style-type: none"> 設備の保守点検、備品の管理は適切に行われているか 緊急時のマニュアルを区と協議して整備し、緊急時には適切な措置を講じているか 管理上の不具合や問題の区への報告が適切に行われているか 損害保険等の加入状況は適切か 	良	<ul style="list-style-type: none"> 設備の保守点検、備品の管理を適切に行い、記録を整備している。 併設施設と合同の防災訓練や災害時のマニュアルに基づく訓練など災害を想定した訓練を年6回実施している。 損害保険の加入状況は適切である。
4 効率的な管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 効率的な人員配置がされているか 業務の再委託における範囲は適切か 事業計画書で提案されたとおり事業が実施されているか 収支計画が提案どおり達成されたか その他効率的・効果的な施設運営に係る取組が行われているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> コロナによる事業等の変更に応じて、柔軟に職員を配置するなど効率的な人員配置がなされている。 再委託の範囲は適正である。 コロナによりプログラム等を中止し、事業計画に変更が生じたが、zoom等の活用により、事業を実施した。 収支計画は、事業の中止等で生じた不要経費を感染防止対策経費に充てるなど調整を図った。
5 施設特性に応じた管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 区が求めた取組を適切に実施しているか 事業者の提案に基づく取組が適切に行われているか その他、選定の際に設定した取組の評価 	良	<ul style="list-style-type: none"> 基幹相談支援センターとして、区が求める相談支援の質の向上や困難事例の対応に取り組んでいる。 事業者の提案により、難病について相談できる場として令和3年11月から「難病ピア相談室」を整備し、開始している。 相談支援専門員を対象とした会議で権利擁護や意思決定をテーマとした事例検討や研修を実施するなど、民間相談支援事業所の育成に取り組んでいる。
6 地域への貢献 <ul style="list-style-type: none"> 区内雇用および障害者・高齢者の雇用促進を図っているか 再委託する際に、区内事業者の活用に努めているか 物品を調達する際に、区内業者からの調達に努めているか 地域、関係機関、ボランティア等との協働または連携した取組が行われているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 区内雇用率は76.9%であり区民雇用に努めている。 物品調達については、可能な限り区内事業者の活用に努めている。 図書館と連携し、障害当事者を講師とした区民向けの障害理解促進講座を実施するなど、地域に向けた障害理解の促進に取り組んでいる。 発達障害者支援の関係部署と連携し、会議や研修、ケース検討を行うなど、発達障害者支援の強化に取り組んでいる。
総合評価	(講評)	
良	<ul style="list-style-type: none"> 項目全般について、区が求める水準を満たしている。 コロナ感染拡大防止について、区の指示に基づき、年間を通して適切に対応した。 	